

# 大分県下専門職能団体

## (拡大運営会議構成団体) 活動報告

### <記載項目>

- ①会の現状
- ②地域リハ関連の活動・取り組み
- ③地域リハ活動における課題・今後の展開

# 大分県医療ソーシャルワーカー協会

会長 野上 美智子



## 1. 大分県協会の現況

正会員数：196名（3/31現在） 賛助会員：団体10 個人3名

<組織> 執行部 会長 副会長 常任理事 理事 計15名  
研修部(スーパーバイザー研修) 学術部 ネットワーク推進部  
広報部 情報システム班 渉外班 歴史編纂部(今年度で終了)

## 2. 地域リハ関連の活動取り組み

- ▼会議等出席 大分県リハビリテーション支援センター拡大運営会議  
大分県地域リハビリテーションケア研究会  
大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会  
大分脳卒中クリニカルパス情報交換会  
保健医療団体協議会担当会長・げんきフェア 10/23-24  
大分難病研究会  
リレーフォーライフの参加(PT協会と合同) 10/9-10  
大分大学福祉科学講座実行委員  
地域連携の会議
- ▼研修会開催 夏季研修(地域との連携診療加算) 秋季研修  
公開セミナー(学術発表)  
スーパーバイザー研修  
病院機能別実習プログラミングシート完成
- ▼学術部 情報交換のための地域連携シートの研究と試行
- ▼講師派遣 ケアマネージャーへの研修・ヘルパー養成講座への研修ほか  
地域により対応
- ▼学会発表 リハビリテーションと協働の発表など

大分県医療ソーシャルワーカー協会設立50周年  
第58回日本医療社会事業全国大会 第30回日本医療社会事業学会開催  
2011年5月28日(土)～29日(日)  
大分大会テーマ 「貧困と家族—現代社会の貧困と向き合う」

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

- ・医療ソーシャルワーカーがコーディネーターとなり地域における情報の発信に寄与する。
- ・各医療機関におけるソーシャルアクションが学会発表となっているが、クライアントの生活を視点に入れると活動の幅が多岐にわたることが望ましい。
- ・大分県保健医療福祉団体協議会の当番会長終了。大分フットボールクラブとの共催。

# (社) 大分県栄養士会

会長 安部 澄子



## 1. 会の現状

会員数 766名

7協議会（病院・福祉・学校健康教育・行政・研究教育・集団健康管理・地域活動）

7支部 大分(由布)・別府・東部（日出、国東）・北部（宇佐、中津、豊後高田）  
豊肥（竹田、豊後大野）・南部（佐伯、臼杵）・西部（日田、玖珠）

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 1) 研修会（後援・協力）

①第7回大分県地域リハビリテーション支援センター

大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

②第3回大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会

③第17回中部圏域大分県地域リハビリテーション広域支援センター研修会

④第18回中部圏域大分県地域リハビリテーション広域支援センター研修会

### 2) 主催

①生涯学習研修会

②(社)大分県栄養士会調理研修会（栄養士・調理師対象）

③(社)大分県栄養士会実務（新人）研修会

④第10回大分県栄養士学会

⑤ヘルパー調理講習会

### 3) 共催

・おおいた食のリハビリテーション研究会

（大分県栄養士会・言語聴覚士会・歯科衛生士会・介護福祉士会）

第7回研修会

第8回研修会

・大分県社会福祉介護研修センター

介護担当技術研修「摂食・嚥下セミナー」講師派遣

・大分県保健医療団体協議会「げんきフェア」

### 4) 会議出席

①大分県地域リハビリテーション研究会

役員会

拡大運営委員会

②中部圏域大分県地域リハビリテーション支援センター連絡協議会

実行委員会

- ③大分県介護予防市町村支援委員会  
口腔機能向上・栄養改善向上専門部会
- ④大分県在宅歯科診療検討部会
- ⑤大分県豊の国 8020 運動推進会議
- ⑥大分県保健医療団体協議会

5) 講師派遣

- ・大分県社会福祉介護研修センター 摂食・嚥下セミナー
- ・摂食・嚥下セミナー及び排泄初級合同セミナー
- ・第 18 回中部圏域大分地域リハビリテーション研究会
- ・高齢者介護予防事業（栄養改善）  
臼杵市特定高齢者介護予防事業  
大分市通所型介護予防事業  
大分ヘルパーステーション月例研修事業
- ・高齢者健康づくり指導者育成講習
- ・年金受給者女性部研修会
- ・食育事業  
保育園・幼稚園・小学校 講話及び調理実習  
赤ちゃん教室等

3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

- ・医療、福祉との連携による在宅支援
- ・在宅での摂食・嚥下障害の方への対処法
- ・在宅での食事療法が必要な方への支援

大分県栄養士会では、栄養ケア・ステーション事業の場として栄養相談・食生活相談、食と栄養、病態栄養及び調理等に関してよろず相談を実施している。

- 電話無料相談（来所も可）
- 一般相談（水曜日）10:00～15:00
- 妊婦・乳幼児相談（火・水・金）10:00～15:00

この活動を地域に広めていくことが課題であり、各団体との連携が重要であると思います。高齢者の食生活指導に低栄養予防や慢性疾患に対する指導、支援及び保育園児、保護者への食育、食生活習慣病の予防をふまえた各関係団体との連携を密にして事業を展開していけたらと思っています。私達の会は7協議会と7支部によって構成されていますので、どの協議会、支部においても連携、協働出来るよう会員の資質向上に努め社会の要請に応えられるよう努力してまいります。

# NPO 法人 大分県介護支援専門員協会

理事長 千嶋 達夫



## 1. 会の現状

正会員数 501 名

賛助会員 法人 9 団体 個人 2 名

支部 15 支部（大分、宇佐高田、中津、別府、佐伯、竹田、国東、津久見、豊後大野、日出、玖珠、庄内、挾間、ゆふいん、野津）

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

- ・会議出席：大分県リハビリテーション協議会役員会  
大分県地域リハビリテーション研究会運営会議
- ・第 7 回 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会
- ・第 3 回 大分県地域リハビリテーション研究会  
『高齢者・障害者が安心して暮らせるまちづくり』  
シンポジスト：介護保険総合ケアセンターいずみの園 栗原洋一
- ・地域リハ調整者・協力員養成研修  
協会会員より大分 3 名、国東 2 名、佐伯 2 名、豊後大野・竹田 1 名、日田・玖珠 1 名、中津・宇佐高田 2 名参加

## 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成 22 年度は全般的に活動が消極的であった。

上部組織である日本介護支援専門員協会にて「介護支援専門員のためのリハビリテーション研修」の DVD が作成された。これをもとにして、県下 5 箇所にて会員を中心とした研修会を企画したが、年度末と重なり実行に至らなかった。23 年度事業へと変更した。

そのほか、他の職能団体への協力等を積極的にすすめていきたい。

# (一社) 大分県介護福祉士会

会長 三浦 晃 史



## 1. 会の現状

会員数 1,270 名

支部構成 8 支部 (日出、大分、由布、佐伯、臼杵、豊後大野、日田、宇佐)

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

○大分県介護福祉士会 研修会・・・年 8 回実施

第 1 回「自立支援に向けた介護技術」

第 2 回「～ぼけても普通に暮らすことを支える～

お年寄りに私達は何ができるのか」

第 3 回「在宅での精神障害への対応について」

第 4 回「介護予防とレクリエーション」

第 5 回「高齢者に多い疾患とその対応」

第 6 回「回復期から在宅復帰に向けてリハビリが途切れない為の

医療との連携における介護福祉士の役割」

「音楽療法 リズムとコミュニケーション」

第 7 回「通所系のサービスについて、今後求められる事とは」

第 8 回「介護福祉士に必要な介護技術～障害の分野から～」

大研修会「支える側が支えられるとき～認知症の母が教えてくれたこと～」

講 師：詩人、児童文学作家 藤川 幸之助 氏

○大分県介護福祉士会 講演会・・・年 2 回実施

設立記念講演会・・・「動物とともに生きる」

九州アフリカ・ライオン・サファリ株式会社

獣医師 神田 岳委 氏

「介護の日」記念講演会・・・「みんなちがってみんないい」

乙武 洋匡 氏

○大分県介護福祉士会 支部別意見交換会等・・・各支部にて年 2 回以上実施

○子どものための福祉講座

内 容 福祉講話・介護機器説明・体の動かし方・車椅子操作

アイマスク (視覚障がい者の介助) 等

対象者 県下の小・中・高校生

講師派遣回数 年間 15 回 派遣人数 61 名

○「出前福祉教室」 小学校 8 校 他 1 回 講師派遣 10 名

○各種委員会への委員派遣

大分県地域リハビリテーション研究会  
大分県日常生活自立支援事業契約締結審査会委員  
大分県リハビリテーション事業運営委員  
大分県ボランティアネットワーク委員会  
大分県介護予防事業市町村支援委員会  
老人福祉計画策定委員会  
大分県社会福祉介護研修センター介護技術研究会  
大分県社会福祉介護研修センター運営委員会  
大分県社会福祉介護研修センター福祉用具専門部会  
中部圏域地域リハビリテーション支援センター実行委員会  
高齢者虐待防止対策検討委員会  
介護認定審査会(国東・大分・宇佐・中津)  
介護福祉士国家試験実地試験委員  
大分県災害ボランティアネットワーク運営委員  
大分県医療適正化推進協議会委員  
豊後大野市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会委員  
高齢社会をよくする女性の会全国大会 in 大分実行委員  
福祉人材確保推進協議会

3. 地域リハ活動における課題 ・ 今後の展開

当会が抱える課題として「人材の確保」「質の担保」という 2 点が挙げられますが、それがそのまま地域リハ活動における課題として考えられます。県下各地に散在する介護福祉士が高い志を持ち、医療・保健・福祉の他職種と連携をとることで、理想の地域リハ活動が実現すると強く信じています。



# (社) 大分県看護協会

会長 松原 啓子



1. 会員数：7,930名（平成23年3月31日現在）
  - ・常任委員会・特別委員会の21委員会が事業を展開している。  
新規にワーク・ライフ・バランス推進委員会と新人看護職臨床研修  
検討委員会
  - ・その他、県下を9地域に分け、地域での活動を推進している
  
2. 地域リハ関連の活動・取り組み
  - 1) 地域リハ関連の活動
    - ・県地域リハ研究会役員会出席
    - ・県リハセンター拡大運営会議出席
    - ・県地域リハ研究会運営部会出席
    - ・県リハ支援センター・県地域リハ合同研修会会議出席
    - ・おおいた地域リハ研究大会企画会議出席  
口述発表座長の派遣  
大会運営派遣 2名  
出席会員 21名  
交流会出席 4名
    - ・リレーフォーライフ2010 in 大分参加
    - ・県地域リハ支援センター・県地域リハ研究会合同研修会 シンポジスト派遣
    - ・理学療法士協会公開講座講師派遣  
テーマ「吸引手順ガイドラインと実際の吸引について」
    - ・県地域リハ支援センター・県地域リハ研究合同研修会 会報誌原稿提出
    - ・介護支援専門員更新研修講師派遣
    - ・大分東明高等学校看護科授業への講師派遣
    - ・大分中央看護学校への講師派遣
    - ・看護科学大学への講師派遣
    - ・介護支援専門員受験対策講座講師派遣
    - ・ホームヘルパーフォローアップ研修講師派遣
    - ・大分県スポーツ学会学術集会 活動報告 座長
  - 2) 県民の健康づくりへの活動
    - ・大分市生活文化展での「まちの保健室」開催 5日間
    - ・大分合同新聞社文化講演会での健康相談 9日間
    - ・「みどりふれあい市」での健康相談 2日間
    - ・「元気フェア」での健康相談 1日間

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

- ・地域リハは重要な活動である、当協会としても活動の検討が必要と考える  
病院内でのチーム医療推進に向けた連携  
吸引についての講師派遣
- ・研究大会での口述に応募予定
- ・平成 23 年度関係研修の計画  
訪問看護研修 在宅酸素療法 NST 摂食嚥下障害患者の看護  
地域連携について
- ・ユニバーサルデザインの大分県看護研修会館を利用

# 大分県言語聴覚士会

会長 森 淳一



1. 会の現状
- 2) 会員数及び施設数(平成23年3月31日現在)  
会員数：212名 ※約7割が大分、別府に集中している  
施設数：77施設
- 3) 構成：  
事務局（総務部、事業部、財務部）  
社会局（広報部、地域連携部）  
学術局（学術研究部、教育研修部）  
特別委員会（小児言語特別委員会、訪問リハ・通所リハ特別委員会）

## 1. 地域リハ関連の活動・取り組み

- 1) 言語障害友の会「なし会」関連
  - ①第8回総会・春の行事  
日 時：平成22年4月4日（日）  
場 所：大分西部公民館  
参加者：34名  
内 容：なし会総会、花見
  - ②夏の行事  
日 時：平成22年8月1日（日）  
場 所：うみたまご  
参加者：28名  
内 容：うみたまごの見学、食事
  - ③秋の行事  
日 時：平成22年11月3日（水）  
場 所：大分西部公民館  
参加者：21名  
内 容：レクリエーション、交流会、食事
  - ④各ブロック会の開催及び参加  
回 数：1～2カ月に1回程度（各ブロック会にて決定）  
内 容：会員間及び家族間の情報交換、食事会

## 2) 第2回言語聴覚の日

- 目 的：言語聴覚士の周知  
方 法：JR車両内への県士会ポスターの掲示  
期 間：中吊広告8月31日（火）～9月5日（日）日豊線・豊肥線・久大線  
戸袋広告9月1日（水）～9月30日（木）日豊線

## 3) 大分県地域リハビリテーション関連

- ①第7回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会  
合同研修会への協力  
日 時：平成22年7月11日（日）  
場 所：別府ビーコンプラザ 国際会議室
- ②第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会への協力  
日 時：平成22年10月31日（火）  
場 所：はさま未来館  
発 表：口述発表3題

- ③各広域支援センター内での勉強会、研修会講師  
大分圏域：「お口のお手入れと安全な食べ方」  
日 時：平成 23 年 2 月 6 日（日）  
場 所：大分岡病院

4) おおいた食のリハビリテーション研究会

(社) 大分県栄養士会、大分県歯科衛生士会、大分県介護福祉士会、大分県言語聴覚士

①第 7 回研修会

日 時：平成 22 年 6 月 20 日（日）  
場 所：大分県社会福祉介護研修センター  
参加者：101 名  
内 容：おおいた食のリハビリテーション研究会 総会  
研究報告会（演題数 10）  
講演「オーラルマネージメント」

松成歯科医院 副院長 松成 康男先生

②第 8 回研修会

日 時：平成 23 年 3 月 27 日（日）  
場 所：大分県社会福祉介護研修センター  
参加者：210 名  
内 容：講演「食べることを考える」  
～何のために？誰のために？食べさせるのは誰の役割？  
安全に食べる・食べさせるとは？～  
佐賀社会保険病院 リハビリテーション科 部長 本多 知行先生  
研修・交流会（体験、相談コーナー）

③第 4 回摂食・嚥下セミナー

7 月～10 月まで（1 週間のコース）

5) 派遣事業

①中津市「5 歳児発達相談会」

日 程：平成 22 年 11 月 5 日（金）、3 月 11 日（金）  
時 間：13：00～  
場 所：中津市三光福祉保健センター  
対 象：5 歳児  
内 容：言葉の発達や発音、吃音の関わる相談  
派 遣：言語聴覚士 2 名

②宇佐市「5 歳児すこやか発達相談会」

日 程：平成 23 年 2 月 17 日（木）、18 日（金）、24 日（木）、25 日（金）  
時 間：13：00～17：00  
場 所：宇佐市勤労者総合福祉センター（さんさん館）  
対 象：5 歳児  
内 容：言葉の発達や吃音に関わる相談  
派 遣：言語聴覚士 4 名

3. 地域リハ活動における今後の展開

言語障害友の会「なしかい」や高次脳機能障害家族会への協力・側方支援、およびボランティア活動としてのコミュニケーションパートナーの支援・育成、住民啓発など地域住民への活動を推進していく予定。

# (社) 大分県作業療法協会

会長 高森 聖人



## 1. 会の現状

※会員数 592 名 (平成 22 年 12 月 1 日現在)

圏 域	支 部 名	会 員 数	施 設 数
中 部 圏 域	大 分 支 部	311	60
	臼 津 支 部	19	4
東 部 圏 域	別 杵 速 見 支 部	84	28
	国 東 支 部	10	6
北 部 圏 域	中 津 支 部	28	11
	宇 佐 高 田 支 部	38	9
西 部 圏 域	日 田 玖 珠 支 部	25	11
豊 肥 圏 域	大 野 支 部	26	7
	竹 田 支 部	20	5
南 部 圏 域	佐 伯 支 部	31	10
計		592	151

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 1) 作業療法一日体験

日 時：平成 22 年 7 月～8 月  
場 所：会員所属施設 (49 施設)  
参 加 者：県内高校生 123 名  
内 容：作業療法の見学、体験など

### 2) 作業療法フェスタ 2010

日 時：平成 22 年 8 月 22 日 (日) 10:00～16:00  
場 所：ジャスコパークプレイス サニーウォーク 1 階中央  
参 加 者：約 200 名  
内 容：こども作業療法体験、絵てがみ作成、高齢者・障害者疑似体験  
福祉用具体験・展示、リハビリテーション・認知相談  
脳ドックパネル展示

### 3) 「センターまつり 2010」作業療法コーナー設置

日 時：平成 22 年 11 月 8 日 (日) 10:00～16:00  
場 所：大分県社会福祉介護研修センター  
内 容：リハビリテーション・認知症相談、作業活動体験等

4) 広報誌「伝 DEN」の発行

№.3 平成 22 年 11 月 1 日発行 1,000 部

発送先：県内市町村、県内高等学校、地域包括支援センター、会員所属施設  
(社) 日本作業療法士協会、九州各県士会

5) 「リレー・フォー・ライフ大分 2010」参加

日 時：平成 22 年 10 月 9 日（土）13:00～10 日（日）13:00

場 所：大分スポーツ公園大芝生広場

大会規模：延べ参加者約 5,000 名

(会員 33 名、家族等 10 名)

6) 各種研修会等への講師派遣

●大分県シルバー人材センター連合会 訪問介護員養成研修 4 回

●大分市保健所精神デイケア事業 3 回

●由布市立知的障害者更生施設小松寮 職員研修 1 回

7) 大分県介護予防市町村支援委員会 運動機能向上専門部会における活動

8) 保健福祉領域における情報提供等、障害者の地域生活移行支援の推進に係る活動

9) 大分県障がい者スポーツ ジュニア育成支援会議における活動

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

公益社団法人への移行を目指す当協会にとって、地域リハ活動はもともと公益性の高い活動であり、今後も積極的に広域支援センター等と連携して、各圏域の会員と広域支援センターとの橋渡しの役目を担っていきたい。

作業療法士は、生活の中で「できること」を増やしていくことができる専門家である。しかし、まだ数・質ともに充実していない状況にあるので、地域の要望に応えることができる作業療法士の育成にも力を注いでいきたい。また、大分県作業療法協会ビルにおいてリハビリテーション相談窓口を定期的開催し、広く県民からの相談を受け、健康増進に寄与できる団体としても活動していきたい。

# (社) 大分県歯科医師会

会長 長尾博通



## 1. 会の現状

会員数：625名（平成23年4月現在）

大分県歯科医師会では地域福祉委員会が介護保険、高齢者・障がい者歯科保健、在宅歯科医療の関連分野を担当している。

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 在宅歯科診療の推進

歯の健康力推進歯科医師等養成講習会が平成21年に行われた。受講終了した歯科医師の管轄の保健所で22年度に在宅歯科診療検討協議会が立ち上がり、在宅歯科診療の取り組み、課題が協議された。

### 老健施設・障がい者施設訪問歯科保健事業

老人保健施設・福祉施設また障がい者施設を訪問する。入居者の口腔内健診、歯科衛生士会の口腔ケア、技工士会は義歯のネーム入れを行う。最後に施設関係者と事業の内容について意見交換を行う。

平成20年度	老人保健施設 障がい者施設	リバーサイド百々園 大分県のぞみ園
平成21年度	特別養護老人ホーム 障がい者施設	白水長久苑 大分県のぞみ園
平成22年度	老人保健施設 障がい者施設	グランドホーム古国府 大分県なおみ園

### 介護保険対応歯科保健研修会の開催

介護の中の口腔ケア等を主とした研修会であり、実習を伴うこともある。会員だけでなく介護施設にも案内状を送りケアマネ、ヘルパー等、他職種の方も多数参加する。

平成20年度	「最後の一口まで」を支援する仲間づくり
平成21年度	「摂食嚥下障害の評価と訓練の実際」
平成22年度	東日本大震災発生のため中止
本年度は平成23年6月25日開催予定	

### 障がい者歯科シンポジウムの開催

22年度の基調講演は「障がい児の口腔ケアとキュア」

シンポジウムは3人の講師により「障がい者歯科保健をどう考えるか」というテーマで開催した。

## 障がい者歯科保健地域協力医育成事業研修会の開催

7回の研修コースを通じて、かかりつけ医のプライマリーケアの連携をはかれるようにする。しいては、障がい者歯科医療の普及ならび向上を目指すために行われる。

平成22年度から3カ年計画で実施した。

本県の協力医 20年度32名 21年度28名 22年度46名

## 各種委員会、協議会、研修会への参加

- ・大分県リハビリテーション協議会
- ・大分県リハビリテーション研究会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・豊の国8020運動推進協議会
- ・都道府県歯科医師会介護保険指導者連絡会
- ・大分県へき地医療対策協議会

## 調査・報告書関係

- ・障がい者（児）施設における歯科保健に関する  
アンケート調査結果報告書
- ・「訪問歯科診療」に関するアンケート調査結果報告書
- ・老人保健施設・老人福祉施設等における  
歯科保健に関するアンケート調査結果報告書
- ・大分県歯科保健サービスマップ
- ・がん治療を始める方へ「食べる」を支える口腔ケアリーフレット

## 今年度新規事業

- 1、高齢者よい歯のコンクール
- 2、口腔機能回復支援指導者養成研修会

## 3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

在宅歯科診療を行う上で治療終了後も継続的な口腔ケアが必要である。このために歯科医師は、介護保険制度の中での歯科保健を研鑽していかなければならない。

今年度、大分県歯科医師会の新規事業である「口腔機能回復支援指導者養成研修会」へ各郡市歯科医師会より代表した会員に受講してもらう。これにより、受講終了者が大分県下ほとんどに配置され、院内の口腔リハに留まらず、居宅、施設等に出向き頻繁に実践できれば、他職種との連携する機会がもっと増えていくものと思われる。



# (一社) 大分県歯科衛生士会

会長 高藤千鶴



1 会員数 188名 (平成23年4月1日現在)

支部 県南地区 (佐伯、津久見、臼杵) 24名

豊肥地区 (竹田、豊後大野) 14名

2 研修会

(主催)

口腔ケアスキルアップセミナー (口腔ケア時のリスク管理) 8/8

大分県委託口腔保健推進事業 研修会

(口腔ケアからの摂食支援—認知症を中心に—) 9/12

(一笑いいきいき—他職種との連携による介護予防教室) 10/24

学術・技術研修会 (スキルアップ歯周病セミナー) 11/21,12/12,2/13

歯科衛生士再就職支援リカバリーセミナー (大分県歯科医師会共催) 1/30

(後援・協力)

中津歯科医師会学術講演会 市民公開講座 (4/25)

第3回口腔ケアシンポジウム in 宮崎 (9/26)

第7回大分県リハビリテーション支援センター

大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会 (7/11)

第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会 (10/31)

第7回おおいた食のリハビリテーション研究会研修会 (6/20)

第8回おおいた食のリハビリテーション研究会研修会 (3/27)

(学術発表、座長))

中津歯科医師会学術講演会 市民公開講座 (4/25) 発表1題、座長

日本歯科衛生士会第5回学術大会 (9/18~20) 発表2題

第3回口腔ケアシンポジウム in 宮崎 (9/26) 発表1題

第7回おおいた食のリハビリテーション研究会研修会 (6/20) 発表2題

第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会 (10/31) 発表2題

(講師派遣)

県内の市町の母子事業、地域支援事業

障がい児施設の歯磨き教室

大分県社会福祉介護研修センターの介護教室・摂食・嚥下セミナー

別杵速見・大分・竹田圏域地域リハビリテーション広域支援センター口腔

ケア研修会

(会議出席)

○地域リハビリテーション関係

大分県地域リハビリテーションセンター広域支援センター

(速見・別府、中部、南部県域)

大分県地域リハビリテーション研究会

○行政関係

大分県 8020 運動推進協議会、大分県在宅歯科診療検討部会、

大分県口腔機能向上・栄養専門部門、

大分県障がい児・者歯科保健検討部会、各保健所地域歯科保健検討部会

(大分県歯科医師会 高齢者、障がい者施設訪問事業に協力)

グランドホーム古国府 8/21

大分県なおみ園 11/14

### 3 課題・今後の展開

口腔ケアは疾病の予防のみならず、口腔機能の維持・向上に有効であることは広く知られ、実施されるようになりました。急性期、回復期、維持期へと切れ目ない口腔ケアの提供が必要かと思われまます。

そのために今後は、多職種との連携を強め、より安全で質の高い口腔ケアが提供できるよう研修会を充実させていきます。また、会員を拡大して地域リハビリテーション圏域ごとに支部を作ることを目指します。

# 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

## 1. 会の現状

会長 手嶋敏夫

会員センター 74センター

- ・地域包括支援センター 45センター
- ・在宅介護支援センター 12センター
- ・地域総合相談支援センター 17センター

## 2. 主な活動・取り組み

### (1) 研修会の開催

#### ①第1回地域住民支援技術研修会

日時：平成22年12月6日（月）10：30～16：30

会場：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加：64名

内容：講義「地域生活支援とネットワーク

～対人援助におけるネットワークの構築と利用～」

日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 准教授 原田正樹 氏  
事例報告

#### ①「地域生活支援とネットワーク」

杵築市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 南美沙子 氏

#### ②「地域づくり支援について」

上野ヶ丘・碩田地域包括支援センター 社会福祉士 小倉亮一 氏

#### ②大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター研修会

日時：平成23年2月7日（月）9：30～12：00

会場：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加：65名

内容：講義「介護保険制度改正に向けた地域包括ケアをすすめる

ネットワークづくり」

大阪市立大学大学院 生活科学研究科 教授 白澤政和 氏

#### ③第2回地域住民支援技術研修会

日時：平成23年2月7日（月）13：00～15：30

会場：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加：40名

内容：講義・演習「対人援助職におけるセルフケア」

社団法人大分県社会福祉士会 理事

Healing forest～癒しの森～

NLPカウンセラー・セラピスト 明石二郎 氏

カラーセラピスト・アナリスト 米園麻記子 氏

### (2) ブロック活動

各市町村ブロック組織での研修会や会議等の活動に対する支援

### (3) 情報提供及び調査研究

#### ①調査研究等

・市町村地域包括ケア推進事業の実施推進 等

#### ②他機関が実施する各種研修会への参加案内

- ・大分県社会福祉士会 成年後見活用講座
- ・大分県介護予防・転倒予防研究会第1回研修会
- ・大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会
- ・大分県脳卒中地域連携研修会
- ・社会福祉施設等経営支援セミナー 等

#### (4) 関係機関・団体との連携・協力

##### ① 県内関係機関・団体との連携

- ・大分県地域リハビリテーション支援センター拡大運営会議への出席
- ・大分県認知症疾患医療センター認知症地域連携研修会への出席
- ・別府市高齢者虐待防止研修会への出席
- ・大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会への出席
- ・日常生活自立支援事業関係機関連絡会議への出席
- ・大分県民生委員児童委員ブロック別研修会への派遣協力（6センター） 等

##### ② 県との協調・支援

- ③ 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会との協調・支援

#### (5) 九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナー

日 時 平成22年11月17日（水）～18日（木）

会 場 宮崎観光ホテル（宮崎市）

参 加 226名（29名）

内 容 基調報告「今後の地域包括支援センター・在宅介護支援センターのあり方について」

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 研修委員長

西元幸雄 氏

パネルディスカッション

座長：熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会長 堀尾慎彌 氏

コメンテーター：全国地域包括・在宅介護支援センター協議会

西元幸雄 氏

佐賀県地域包括・在宅介護支援センター協議会長

凌 文子 氏

テーマ（1）ネットワークづくり

パネリスト（熊本県・沖縄県・鹿児島県）

テーマ（2）介護予防とそのあり方

パネリスト（佐賀県・大分県・宮崎県）

（大分） 駅川圏域地域包括支援センター

主任介護支援専門員 荒木真由美 氏

講演Ⅰ「地域包括ケアをめぐる現状と今後の方向性」

厚生労働省老健局振興課 人材研修係長 山本明彦 氏

講演Ⅱ「認知症の人と家族を地域で支える

～予防からターミナルまで～

認知症介護研究・研修東京センター

研究部副部長 永田久美子 氏

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

# 大分県地域リハビリテーション研究会

会長 武居光雄



## 1. 会の現状

会 長：武居光雄 副会長：高森聖人、高藤千鶴

幹 事：各団体より代表者 1 名

監 事：本田昇司、難波亮二 顧問：佐竹孝之、有田眞、森照明

会員数：16 団体 総数 15,536 名(平成 22 年 4 月)

大分県地域リハ医師懇話会(29 名) (社)大分県歯科医師会(623 名)

(社)大分県栄養士会(728 名) (社)大分県看護協会(7,616 名)

(社)大分県作業療法協会(512 名) (社)大分県薬剤師会(1,399 名)

(社)大分県理学療法士協会(868 名) 大分県歯科衛生士会(172 名)

大分県言語聴覚士会(228 名) 大分県介護福祉士会(1,251 名)

大分県医療ソーシャルワーカー協会(196 名) 大分県臨床心理士会(166 名)

大分県介護支援専門員協会(504 名) (社)大分県放射線技師会(354 名)

(社)大分県臨床検査技師会(655 名) (社)大分県臨床工学技士会(235 名)

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### ① 第 7 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会の開催

日 時：平成 22 年 7 月 11 日(日)

場 所：別府ビーコンプラザ 国際会議室

参加者：287 名

講 演：『地域包括ケアシステム構築に向けて

～介護支援専門員の取り組みと地域リハビリテーション活動～

講 師：日本介護支援専門員協会 会長 木村隆次 先生

司 会：大分県リハビリテーション支援センター センター長 森照明

シンポジウム『地域連携を考える ～認知症を地域でどう支えるか～』

シンポジスト：(社)大分県看護協会 大分赤十字病院 松本まり

大分県言語聴覚士会 介護老人保健施設 岡の苑 佐藤芙未映

(社)大分県介護福祉士会 特別養護老人ホーム敬天荘、中ノ島園

梶原キヌ子

大分県 MSW 協会 天心堂へつぎ病院 井元哲也

司 会：大分県地域リハビリテーション研究会 運営部長 井野邊純一

(社)大分県臨床工学技士会 副会長 小川一

### ② 第 3 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会の開催

日 時：平成 22 年 10 月 31 日(日)

場 所：はさま未来館 文化ホール他

参加者：195名

テーマ：『暮らしを支えるリハビリテーション ～ネットワークを深めよう～』

特別講演『高齢者・障害者の暮らしを支える住環境』

講師：大分大学工学部 福祉環境工学科 准教授 鈴木義弘 先生

司会：大分県医療ソーシャルワーカー協会 副会長 佐藤博文

シンポジウム『高齢者・障害者が安心して暮らせる街づくり』

司会：大分県作業療法協会 会長 高森聖人

コメンテーター：大分大学工学部 福祉環境工学科 准教授 鈴木義弘 先生

▶ 行政の立場から

大分県福祉保健部 地域福祉推進室 室長 河野成典

▶ 在宅支援専門職の立場から

介護支援専門員協会 いずみの園介護保険サービスセンター 栗原洋一

▶ 当事者の立場から

NPO 法人自立支援センターおおいた 五反田法行

口述発表：22題

ポスター発表：8題

③ 第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会 交流会

日時：平成22年10月30日(土) 19:00～受付 19:30～開始

場所：大分全日空ホテル オアシスタワー 21階エトワール

参加者：100名

④ 広報誌の発行

第16号 印刷部数：1,000部(平成22年8月発行)

第17号 印刷部数：1,000部(平成23年2月発行)

⑤ 運営部会の開催

第1回：平成22年5月24日(月)

第2回：平成22年6月14日(月)

第3回：平成22年7月23日(金)

第4回：平成22年8月30日(月)

第5回：平成22年9月24日(金)

第6回：平成22年10月18日(月)

第7回：平成22年11月25日(木)

第8回：平成23年3月4日(金)

⑥ 役員会の開催

第15回：平成22年5月31日(月)

第16回：平成23年3月14日(金)

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域リハビリテーションという言葉は県内の医療・福祉・保健等のスタッフに

かなり浸透したと思われる。しかし、その意味を深く理解できているかと問われるとそうでもない場面も見受けられる。もう一步踏み込んだ理解ができるよう、今後も今まで以上に職能団体間のつながりを強くしていき、研修会や研究大会を通じて皆で勉強していきたい。また、県下の医療、福祉関係の養成学校にも働きかけ、学生のころより地域リハビリテーションという概念を理解できるように、啓発したいと考えている。今後は各種委員会を設置し、様々な問題点を専門的に討論や遂行する体制を取りたいと考えている。

# (一社) 大分県病院協会

会長 川 篤 眞 人



## 1. 病院協会の現状 (H23. 3. 31 現在)

(1) 会員数：129 病院 会 長：川 篤 眞 人 (川 篤 整形外科病院)  
副会長：松本文六 (天心堂へつぎ病院)  
副会長：畑洋 一 (畑 病院)

### (2) 支部構成：地区毎の理事及び所属病院数

県北 (所属病院数 24 - 理事：佐藤仁一、瀧上 茂)

別杵 (所属病院数 23 - 理事：黒木健次、山本記顯)

大分 (所属病院数 47 - 理事：有田毅、武居光雄、岡敬二、中村太郎、井野邊純一)

久大 (所属病院数 20 - 理事：山本 亨、後藤憲文)

豊肥 (所属病院数 4 - 理事：大久保 健作)

県南 (所属病院数 11 - 理事：小寺 隆、曾根 勝)

(3) 監 事：帆秋善生、膳所憲二

(4) 名誉会長：井野邊義一 顧問：岡 宗由 参与：野口志郎

## 2. 病院協会活動報告 (総会資料より抜粋)

(1) 平成 22 年度通常総会及び一般社団法人大分県病院協会臨時社員総会  
開催日時：平成 22 年 5 月 22 日 (土) 15 時

場 所：大分全日空ホテル オアシスタワー (大分市高砂町 2-48)

特別講演：演題「これからの病院経営と医療法人の事業継承について」

講 師 株式会社ジェムコ日本経営 濱口吉人先生

参加者 59 名

(2) 理事会：計 6 回開催

(3) 第 28 回大分県病院学会実行委員会：計 2 回開催

(4) 第 28 回大分県病院学会

テーマ：「安心・安全・満足 輝く医療・介護をめざして」

日 時：平成 22 年 11 月 21 日 (日) 8:45~16:20

場 所：別府市山の手町 ビーコンプラザ

参加人員 (概数)：医師 58 名 事務部会 361 名 看護部会 1,116 名 栄養部会 122 名

医療技術部会 292 名 社会福祉部会 165 名 その他 314 名

計 2,428 名

特別講演：「医療安全とコミュニケーション」

講 師：武蔵野赤十字病院 副院長・小児科部長 日下隼人先生



シンポジウム：「安心・安全・満足 輝く医療・介護をめざして」  
～リスクマネジメント～

シンポジスト：西鉄バス北九州株式会社 取締役会長 久保祐二 先生  
湯布院厚生年金病院 院長 森 照明 先生  
社会医療法人財団天心堂 看護部長 大塚三千代 先生

(5) 講演会（公開講座）

日 時：平成 23 年 3 月 12 日（土）15 時～  
場 所：大分県医師会館 7 F 大会議室  
講 師：本田 宏 先生（済生会栗橋病院 副院長）  
演 題：「医療・日本崩壊の深層と再生への処方箋」  
参加人員：27 病院より 128 名、一般より 13 名 合計 141 名

(6) その他の会議

九州 4 県（長崎、熊本、大分、福岡）病院団体長調整会議  
日 時：平成 23 年 1 月 28 日（金） 13 時～14 時 45 分  
場 所：博多都ホテル

3. 各部会活動報告

(1) 事務部会

①研修会

日 時：H22 年 6 月 11 日（金）14：00～16：30  
場 所：大分県医師会館 7 階大会議室（大分市大字駄原 2892-1）  
演 題：「平成 22 年度診療報酬改定等について」  
講 師：メディカル 21 代表 村上佳子 先生

②役員会：計 4 回開催

(2) 看護部会

①研修会

第 1 回研修会

日 時：H22 年 7 月 3 日（土）13 時～  
テーマ：「“食”をとおして 認知症患者を理解する」  
講 師：NPO 法人摂食コミュニケーションネットワーク理事長 中島知夏子 先生  
場 所：大分県医師会館

第 2 回研修会

日 時：H22 年 9 月 4 日（土） 13 時～  
テーマ：「臨床における認知症患者の理解とその対応」  
講 師：医療法人新生会高田中央病院 認知症看護認定看護師 後藤 聡美 先生  
場 所：大分県医師会館

②役員会：計 4 回開催

(3) 栄養部会

①研修会

### 第1回研修会

日 時：平成22年7月17日(土) 13:00～17:00

場 所：大分県医師会館 6F 研修室 I

講演 I：「病院機能評価受診に向けて Ver.4.0 から Ver.6.0 へ」

講 師：株式会社 翔葉 河野友治先生

講演 II：「より身近に栄養士の関わりを感じてもらうには」～チームFCの試み～

講 師：古国府クリニック 副院長 伊東康子先生

### 第2回研修会

日 時：H22年9月25日(土) 13:00～17:00

場 所：大分県医師会館 6F 研修室 I

講演 I：「知っておきたい！栄養管理における感染管理」

講 師：佐賀関病院 臨床工学技士 村上圭太先生

講演 II：「身近な栄養学」

講 師：井野辺病院 薬剤師 伊藤洋二先生

### 第3回研修会

日 時：平成23年1月22日(土) 13:00～17:00

場 所：大分県医師会館 6F 研修室 I

講演 I：「嚥下食のおはなしと実演」

講 師：株式会社 宮源 牧 裕司先生

講演 II：「病態栄養 ～食と心～」

講 師：別府大学 食物栄養科 教授 米持 英俊先生

② 役員会：計4回開催

### (4) 社会福祉部

#### ①研修会

##### 第1回研修会

日 時：平成22年9月4日(土) 14:00～16:30

場 所：アステム大分本社 4F 大会議室

内 容：『医療現場におけるエコ活動』

講 師：桑野 恭子 氏（大分県環境教育アドバイザー）

高橋 秀好 氏（大分東部病院 庶務課主任）

##### 第2回研修会

日 時：平成23年2月26日(土) 14:00～16:10

場 所：新日鉄 攻玉寮 2階 大ホール

内 容：『医療現場におけるクレーム対応を考える

～患者・家族の思い、スタッフの思い～』

講 師：出口 直子 氏（農協共済 別府リハビリテーションセンター 総合連携部

リハビリテーション支援課 課長補佐 臨床心理士）

②役員会：計7回開催

③研修会への名義後援：大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会等

#### 4. 地域リハ活動における課題・今後の展開

○社会福祉部会

○医療技術部会

地域リハビリテーションに関する研究班を立ち上げ、積極的に病院協会としてできるシステムを構築し、参加する予定（現在詳細に付き検討中）。

# (社) 大分県放射線技師会

会長 村上 康 則



## 1. 会の現状

会長 村上 康則 (大分大学医学部附属病院)

副会長 江藤 芳浩 (西田病院)

副会長 桑原 宏 (天心堂へつぎ病院)

会員数 359 名(平成 23 年 4 月 1 日現在)

	会員数
県 北	36
国 東	12
日 田	13
別 府	77
大 分	167
豊 肥	16
県 南	34
その他	4
計	359

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

第 7 回大分県リハビリテーション支援センター・

大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

日時：平成 22 年 7 月 11 日 (日)

場所：別府市ビーコンプラザ

リレー・フォー・ライフ大分 2010

日時：平成 22 年 10 月 9 日 (土) ～10 日 (日)

場所：大分スポーツ公園「大芝生広場」

参加：5 名

第 3 回大分地域リハビリテーション・ケア研究会交流会

日時：平成 22 年 10 月 30 日 (土)

場所：大分全日空ホテルオアシスタワー (21 階エトワール)

第 3 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会

日時：平成 22 年 10 月 31 日 (日)

場所：由布市はさま未来館

口述発表「嚥下造影検査時の介助者被ばく線量について」

天心堂へつぎ病院 桑原 宏

「骨粗しょう症 Q&A の作成～骨粗しょう症の講義を通じて～」

湯布院厚生年金病院 江澤 朋子

#### レントゲン週間イベント

日時：平成 23 年 1 月 9 日（日）

場所：パークプレイス

実行委員長：甲斐英樹

内容：超音波によるファントム走査体験、骨密度測定、乳がん自己検診方法、パネル展示、3D-CT 画像供覧、放射線相談などを行った。  
多数の家族連れが訪れ盛況であった。

#### その他

東日本大震災に係る福島原発事故の際し、福島県内の避難地域住民への放射線汚染等のサーベイランスについて、厚生労働省から日本放射線技師会協力依頼を受け、第3次派遣隊のメンバーとして本会会員2名が参加した。

日時：平成 23 年 3 月 26 日（土）～30 日（水）

派遣者：桑原 宏（副会長）、末吉聖二（理事）

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

#### 【研究課題】

- ・体の動きの悪い患者さんに対して、患者さんの負担軽減と必要な診断情報を得るための撮影技術ならびに撮影補助具に関する研究
- ・骨密度検査の精度についての研究
- ・CT を使用した内臓脂肪測定の精度についての研究
- ・嚥下造影撮影の工夫、改善
- ・高次脳機能障がいに関する画像検査法の研究

#### 【連携】

- ・リハビリの機能評価と画像情報の関連について、他職種と連携を行い、患者さんの治療効果につながるような検査方法を模索する。
- ・骨密度測定、内臓脂肪測定を行う立場から転倒予防教室など院内での活動に参画する。
- ・広域支援センターの放射線技師がリハビリ関連分野に積極的に関与する。
- ・CT・MR を使用した画像検査に従事し、脳梗塞の早期発見、早期治療による高次脳機能障がいの重症化を防ぐための画像診断を支える。
- ・チーム医療を担う専門職種として他職種との連携を進め、診療放射線技師としての役割を果たす。

# (社) 大分県薬剤師会

会長 安東 哲也



## 1.会の現状

会員数：1,380名（平成23年4月1日現在）

## 2.地域リハ関連の活動・取り組み

### (1)講習会の開催

日 時:平成22年11月12日(金)

場 所:県薬会館

講 師:日本薬剤師会常務理事 木村 隆次先生

演 題:「在宅訪問ならびに他業種との地域連携について」

### (2)研究大会等への参画

第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会への参加

日 時:平成22年10月31日(日)

場 所:はさま未来館

### (3)委員会の開催

下記議題等について委員会を開催し、委員に周知した。

(1)健康介護まちかど相談薬局について

(2)在宅療養推進アクションプログラム事業推進について

(3)地域リハビリテーションについて

## 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

現在、超高齢化社会に対応する医療・介護の体制として、住み慣れた地域の日常生活圏域内（おおむね30分以内）において、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく、有機的かつ一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の整備が進んでいる。そのためには、地域の医療・介護に関連する多職種が連携して適切な医療・介護サービスを提供することが肝要かと思えます。そこで、当会では地域連携を推進するため『在宅療養推進アクションプラン』を策定し、会員薬局(507薬局)あてアンケート調査を開始した。

在宅療養推進アクションプランは、下記の2つの事業を柱としている。

### (1)より多くの薬局・薬剤師が在宅医療に参画するための地域体制整備

①地域単位での薬局の訪問薬剤管理指導業務応需体制を調査し、関係職種・行政等に情報提供を行う。

②在宅医療における薬剤師の役割や機能について、関係職種に正しく理解していただくため積極的なアプローチを行う。

(2)薬剤師が在宅医療に取り組むために必要な知識、研修等のサポート

これらの活動を通じて、より多くの薬局・薬剤師が在宅医療に参画し、チーム医療の中で、薬剤の専門家として各医療スタッフからの相談に応じることができ、一層貢献できる体制を整えることが、地域リハ活動にも貢献できることと思われる。

薬局・薬剤師が地域に溶け込み、高齢者や障害を持った方々の生活機能全般の改善や環境調整などを通じて、**QOL**の向上や介護状態にならず自立した日常生活を営めるように支援することは、今後とも重要な課題としてあり続けると考える。

# (公社) 大分県理学療法士協会

会長 河野 礼 治



地域リハビリテーションの視点から、平成 22 年度、当協会として公益事業推進に向け取り組んできた事業についてご紹介します。平成 22 年度では大分県のほぼ全域において地域リハビリテーションに関する活動が当協会にて行うことができました。今後さらなる公益事業の推進を図ってまいりたいと考えています。

## 1. 会の状況

(1) 会員数：966 人

(2) 支部構成：県内 6 ブロック（大分，別杵速見，県北，県南，久大，豊肥）

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 【地域医療、地域保健及び社会福祉への協力に関する事業】

#### (1) 第 14 回介護支援セミナー

日 時：平成 22 年 06 月 20 日（日）12：00～16：30

場 所：別府リハビリテーションセンター

テーマ：「リハビリテーション介護の提案」—起居・移乗の介助法—

講 師：是永浩二 氏（岡本病院）

興梶貴美恵 氏（別府リハビリテーションセンター）

対 象：一般県民・介護保険施設職員等 参加者 57 名（一般参加 1 名）

（資料費 500 円）

後 援：大分県社会福祉協議会、大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送

#### (2) 介護支援キャラバン テーマ：「起居・移乗の介助法」

##### ①介護老人福祉施設紫雲荘

日 時：平成 22 年 10 月 19 日（火）19：00～21：00

講 師：是永浩二 氏、首藤暢宏 氏、古本雅博 氏（岡本病院）

川井道治 氏、佐藤史孝 氏（みえ記念病院）、上杉啓太 氏（長門記念病院）

伊藤正和 氏（みょうばんクリニック）、興梶貴美恵 氏（別府リハビリテーションセンター）

対 象：臼津圏域介護保険施設職員 参加者 72 名（資料費 500 円）

##### ②えとう内科

日 時：平成 23 年 02 月 27 日（日）10：00～12：00

講 師：佐々木紘幸 氏、谷川千春 氏、生野ユカ 氏（諏訪の杜病院）

中原佑太郎 氏（別府リハビリテーションセンター）



対 象：大分地域介護職員 参加者 32 名 (資料費 500 円)

(3) 第 6 回介護予防セミナー

日 時：平成 22 年 09 月 26 日 (日) 13:00～16:00 はさま未来館

テーマ：「チャレンジ介護予防～転倒予防と評価方法～」

講 師：林 直弘 氏 (別府リハビリテーションセンター)

対 象：地域包括支援センター・大分市別府市の介護予防事業所等 参加者 20 名  
(資料費 500 円)

後 援：大分県、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送

(4) 介護予防キャラバン テーマ：「チャレンジ介護予防～転倒予防と評価方法～」

①特別養護老人ホーム創生の里

日 時：平成 22 年 12 月 18 日 (土) 14:00～16:00

講 師：林 直弘 氏 (別府リハビリテーションセンター)、

生野ユカ 氏 (諏訪の杜病院)

中原祐太郎 氏 (別府リハビリテーションセンター)

対 象：ヘルパー等 参加者 33 名 (資料費 500 円)

②川寫整形外科病院

日 時：平成 22 年 03 月 16 日 (水) 19:00～20:30

講 師：岩永純一 氏 (和田病院)、伊藤正和 氏 (みょうばんクリニック)

島澤真一 氏、小松原佳苗 氏

(川寫整形外科病院 通所リハビリテーションセンター)

対 象：中津・宇佐地域の介護予防事業所等 参加者 30 名 (資料費 500 円)

【行政等他組織の事業への協力・支援】

①国東市豊の船講師依頼

日 時：平成 22 年 05 月 21 日 (金) 11:00～ アストくにさき

出向者：毛井 敦 氏 (別府リハビリテーションセンター)

山本隆人 氏 (別府リハビリテーションセンター)

②リレー・フォー・ライフ

日 時：平成 22 年 10 月 09 日 (土) ～10 日 (日)

参加者：67 名

③介護研修センターまつり 2010 への協力

日 時：平成 22 年 11 月 07 日 (日) 10:00～14:00

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

④ホームヘルパー養成講座

テーマ：リハビリテーションの基礎知識

⑤第 45 回九州医学検査学会特別企画 “健康フェア”

日 時：平成 22 年 09 月 12 日 (日) 09:00～ 別府ビーコンプラザ

出向者：宮原龍司 氏 (藤華医療技術専門学校)

前田和規 氏 (別府リハビリテーションセンター)  
村上英治 氏 (訪問看護ステーションいずみ)  
大野天聖 氏 (別府リハビリテーションセンター)

- ⑥介護認定審査会への認定委員派遣 (県下6圏域に対して19名出向者)
- ⑦障害者介護給付費等認定審査会への認定委員派遣 (県下2圏域に対して2名出向者)
- ⑧社会福祉施設経営指導事業への指導員派遣 (県下4施設に対して4名出向者)
- ⑨別府溝部学園短期大学「リハビリテーション」講座への講師派遣

【理学療法の知識の普及啓発に関する事業】

- (1) 理学療法士の活動について啓発事業 公開講座

日 時：平成22年11月14日(日)

場 所：日田市総合体育館

テーマ：「五十肩解消法」

講 師：社団法人大分県理学療法士協会 会長 河野礼治 氏

参加者：43名

- (2) 介護研修センターまつり2010への協力

日 時：平成22年11月07日(日) 10:00~14:00

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：①筋力・バランス能力測定 ②パネル展示

協力者：池田孝臣 氏、村上英治 氏、後藤景子 氏、深田敬子 氏、小野涼子 氏、  
生野 旭 氏、武内未穂 氏、服部 亮 氏

参加者：80名

- (3) 大分県保健医療団体連絡協議会「げんきフェア」

日 時：平成22年10月23日(土) 10:30~13:00

会 場：大分銀行ドーム 東口周辺通路

内 容：①理学療法に関する相談会 ②パネル展示 ③筋力・バランス能力測定

参加者：40名

- (4) 別杵速見ブロック理学療法啓発事業

日 時：平成23年02月27日(日) 杵築市生涯学習館

テーマ：「やってみよう骨盤底筋体操～理学療法士のはなすトイレの話～」

講 師：別府リハビリテーションセンター 理学療法士 毛井 敦 氏

参加者：杵築市民27名

- (5) 維持期リハビリテーション研修会 (理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

県内各団体共催)

日 時：平成23年01月30日(日) 09:30~12:40

会 場：別府ビーコンプラザ

テーマ：「維持期リハビリテーションの効果について考える

～訪問リハビリテーションの現状と問題点を見つめて～」

講 師：全国訪問リハビリテーション研究会 会長 伊藤隆夫 先生

(シンポジスト 理学療法士 池田孝臣 氏、作業療法士 児玉隆典 氏、  
言語聴覚士 中村太一 氏)

参加者：259名（理学療法士協会 129名、作業療法協会 80名、  
言語聴覚士会 45名、非会員 5名）

(6) 理学療法週間の実施

期 間：平成 22 年 07 月 11 日（日）～17 日（土）

後 援：大分県、大分県社会福祉協議会、大分合同新聞社、NHK大分放送局、  
OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送

①高校生対象理学療法説明会

参加者：25校 113名

②理学療法週間イベント

日 時：平成 22 年 07 月 11 日（日）10：00～14：00

会 場：あけのアクロスタウン

内 容：①理学療法に関する相談会 ②パネル展示 ③筋力・バランス能力測定  
④記念品等の配付

参加者：96名

3. 地域リハ活動における課題・今後の展望

# (社) 大分県臨床検査技師会

会長 佐藤元恭



## 1. 会の現状

会員数：592名（5月11日現在）

支部構成：大分地区、別杵地区、県北地区、県南・豊肥地区、県西地区

大分県臨床検査技師会は創立57年目を迎え、事務局、学術部、組織部、企画部、経理部より成り、学術部は各学術分野を6部門23の専門分野に分け、組織部では県内を5地区に分けて定期的に学術集会や研修会を開催している。臨床検査は医療現場において、疾病の早期発見や正確な臨床診断には欠かせない業務である。医療だけではなく、検診事業や公衆衛生、新薬の開発、予防医学などの分野でも臨床検査技師の技術が生かされている。NSTやICTなど他のメディカル・スタッフと協力のもとリハビリテーションの必要な急性期・慢性期患者に対しても積極的な関わりを持つようになっている。

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### ①第42回大分県臨床検査学会

日時：平成23年3月13日(日)

場所：大分県立病院 3階 大講堂

特別講演：「輸血の安全管理について」

産業医科大学 臨床検査・輸血部 助教 中田 浩一

### ②ガン征圧、乳がん撲滅に関する事業

「リレー・フォー・ライフ大分2010」に参加

日時：平成22年10月9日～10日

場所：大分銀行ドーム 西側大芝生広場

内容：(1)参加会員49名によるタスキリレー及びがん患者との触れ合い

(2)企画テントにおいて「インボディー計測」と「骨密度検査」「呼気CO測定」を実施

(3)掲示ポスターにおいて臨床検査技師とがん早期発見の役割を啓発

### ③エイズ・STI 予防に関する事業

日時：平成22年12月11日

場所：大分市府内町 大分駅前周辺、赤レンガ館2階大ホール

内容：①大分駅周辺においてエイズ予防啓発リーフレット、脂取り紙の配布

#### ②市民公開講演

「性行為感染症の現状」

大分県衛生環境研究センター 小河正雄 技師

「エイズはよその国のことでしょうか？」

大分記念病院 名誉理事長・常務理事 高田三千尋 先生

参加人数：109名

④生活習慣病予防啓発に関する事業

日時：平成 22 年 9 月 12 日

場所：別府ビーコンプラザ

内容：①パネル展示、骨密度測定、血流速度測定

②市民公開講座

「笑医と感動で心のパワーアップを」

東京医療保健大学教授・笑医塾長他 高柳 和江 先生

⑤学術合同講演会

日時：平成 23 年 1 月 22 日

場所：大分記念病院

講演 1：「人間力とは」

日本文理大学副学長兼経営経済学部長 瀬川 紘一 先生

講演 2：「人間力育成プログラムによる人材育成」

日本文理大学工学部建築学科准教授兼人間力育成センター長

吉村 充功 先生

参加人数：34 名

⑥学術部主催 生涯教育講習会・勉強会

全 36 回（平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月）

部門：生物化学分析部門、生理機能検査部門、形態検査部門、

感染制御部門、移植検査部門、総合管理部門

⑦組織部主催 生涯教育講習会・勉強会

全 32 回（平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月）

地区：大分地区、別杵地区、県北地区、県南・豊肥地区、県西地区

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

数年前に比べ医療団体協議会等の横のつながりが確立されてきた。しかし、臨床検査は地域リハビリテーション活動との関わりにおいてはまだまだ希薄であると感じられる。従来の臨床検査の多くは検診事業や病院診療における疾病の早期発見、早期診断に主眼を置いてきた。しかし、ここ数年で疾病診断以後の慢性期、回復期に対しても、身体の状態把握などにおいて側方支援を行うことが求められるようになった。寝たきり患者の感染防御対策、慢性疾患患者の栄養状態把握、循環器患者の心肺機能把握など支援できる検査項目は少なくないと思われる。データ標準化事業の推進により、大分県の多くの施設で測定された検査値は同様の尺度で解釈できるまでとなってきた。今後は臨床検査においても迅速かつ正確なデータを臨床側にフィードバックするだけでなく、少子高齢化に対応すべく介護福祉分野での貢献も考えていかなければならないと考える。

# (社) 大分県臨床工学技士会

会長 小川 一



## 1. (社)大分県臨床工学技士会の現状

設立：平成 2 年 6 月 24 日

社団法人設立：平成 20 年 1 月 31 日

- (1) 正会員数 245 名 (H23. 4. 16 現在)
- (2) 賛助会員数 20 社

## 2. 大分県地域リハビリテーション関連の活動・取り組み

- (1) 大分県リハビリテーション支援センター第 7 回拡大運営会議への出席

平成 21 年 5 月 27 日 (水) 湯布院厚生年金病院 保健学習棟 3 階研修室

- (2) 第 7 回大分県地域リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会

参加協力

平成 22 年 7 月 11 日 (日) ビーコンプラザ国際会議場

シンポジウム「地域連携を考える～認知症を地域でどう支えるか～」

司会大分県臨床工学技士会(小川 一) 運営・会場スタッフ 2 名派遣

- (3) 第 3 回大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会 参加協力

平成 22 年 10 月 31 日 (日) はさま未来館

- (4) 大分県保健医療団体協議会 げんきフェア

平成 22 年 10 月 23 日 (土) 大銀ドーム

- (5) 大分県地域リハビリテーション研究会第 15. 16 回役員会への出席

平成 23 年 5 月 31 日 (月) 湯布院厚生年金病院会議室

平成 23 年 3 月 14 日 (月) 井野邊病院会議室

- (6) 大分県地域リハビリテーション研究会運営会議への出席 6 回/年

- (7) 大分県保健医療団体協議会理事会への出席 3 回/年

## 3. 大分県地域リハビリテーション関連の活動における課題・今後の展開

- (1) 大分県地域リハビリテーション関連大会・会議等への出席参加協力

- (2) 内部障がい者への臨床工学技士としての対応

- (3) 喀痰の吸引の研修等の各リハ関係職種との協同開催

- (4) 日本臨床工学会、九州臨床工学会開催時の公開講座参加の各団体への協力依頼

- (5) 学会開催予定

学会名：第 21 回日本臨床工学会・平成 23 年度日本臨床工学技士会総会

会 期：平成 23 年 5 月 21 日 (土)～22 日 (日)

場 所：別府国際コンベンションセンター「ビーコンプラザ」

テーマ：「臨床工学技術の伝承～未来へのアプローチ～」

学会長：(社)大分県臨床工学技士会 会長 大石義英

参加予定人数：1500名～2000名

教育講演 1 演題 特別講演 1 演題 招聘講演 1 演題

市民公開講座 2 演題 シンポジウム 2

ワークショップ 10 JACET BPA 10 演題 共催セミナー 10 社

一般演題 337 台 機器展示 49 社 で行う予定です。

# 大分県臨床心理士会

会長 大嶋 美登子



## 1. 会の現状

正会員 167名、準会員 24名 (平成23年3月末 現在)

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### (1) 会議への参加

- ・大分県リハビリテーション支援センター 拡大運営会議
- ・大分県地域リハビリテーション研究会 22年度の役員会議・運営会議

### (2) 研修会の企画・参加・発表

- ・平成22年度 九州・沖縄地区臨床心理士会研修会

日時：平成22年7月11日(日) 10:00～16:30

場所：別府大学

テーマ「今、臨床心理士に求められるもの—認知行動療法の時代的要請—」

分科会(3)「他職種・多職種の中で臨床心理士が役立つためのコツを学ぶ

—専門職間の連携と共同—」

司会：加藤真樹子(湯布院厚生年金病院)

出口直子(別府リハビリテーションセンター)

演者：三木浩司(社会保険小倉記念病院 精神科部長/医師)

辻真理子(独立行政法人国立病院機構九州医療センター感染症対策室  
/臨床心理士)

江口美和(大分大学 医学部・病院事務部総務過安全衛生係/保健師)

野上美智子(臼杵市医師会立コスモス病院 地域医療福祉連携室室長  
代理/医療ソーシャルワーカー)

\* 実行委員会参加(加藤真樹子・出口直子)

- ・第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会

日時：平成22年10月31日(日) 9:30～15:40

場所：はさま未来館 文化ホールほか

テーマ「暮らしを支えるリハビリテーション～ネットワークを深めよう～」

口述発表 「思春期の高次脳機能障がいに対する相談支援

～ 相談事例を通して臨床心理士としての一考察 ～」

大分県臨床心理士会・別府リハビリテーションセンター 出口直子

口述発表座長 大分県臨床心理士会・湯布院厚生年金病院 加藤真樹子

\* 運営参加(川村麻衣子、宗申也)

### (3) 医療部門主催自主研修会

- ・第2回大分県医療現場に携わる臨床心理士の集い

日時：平成22年9月12日(日) 10:00～12:00

場所：別府リハビリテーションセンター 体育館2階研修室

内容：「医療現場における臨床心理士の役割・職業アイデンティティについて」



- ・第1回医療部門&子育て・発達支援部門合同企画研修会  
日時：平成22年12月3日（金）19：00～21：30  
場所：大分大学教育福祉科学部附属教育実践総合センター  
内容：「発達障害のある人の支援ニーズ、適応行動、認知機能  
— 最近のいくつかの発達検査の標準化作業に関わった経験から —」  
講師：佐藤晋治先生（大分大学）

(4)「大分リハビリテーション心理研究会」の開催

- ・第10回研究会  
日時：5月28日（金）  
場所：別府リハビリテーションセンター  
テーマ：「脳の損傷部位と症状を読み解く力を養う1」  
事例提供者：羽坂雄介（湯布院厚生年金病院）  
出口直子（別府リハビリテーションセンター）
- ・第11回研究会  
日時：7月23日（金）  
場所：別府リハビリテーションセンター  
テーマ：「頭部外傷による高次脳機能障害を抱える高齢女性との面接過程」  
事例提供者：中川裕也（諏訪の杜病院）
- ・第12回研究会  
日時：10月1日（金）  
場所：別府リハビリテーションセンター  
テーマ：「動作法を基本としたリラクゼーション技法」  
発表者：川村麻衣子（湯布院厚生年金病院）
- ・第13回研究会  
日時：11月19日（金）  
場所：別府リハビリテーションセンター  
テーマ：「脳の損傷部位と症状を読み解く力を養う2」  
事例提供者：徳永裕香（別府リハビリテーションセンター）  
テーマ：高次脳機能障害のグループ訓練  
発表者：中川裕也（諏訪の杜病院）
- ・第14回研究会  
日時：2月18日（金）  
場所：別府リハビリテーションセンター  
テーマ：「視床について」  
発表者：出口直子（別府リハビリテーションセンター）  
テーマ：「リハビリテーション領域で臨床心理士に求められていること」  
事例提供者：宗申也（井野辺病院）

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

- ・地域リハビリテーション分野にかかわる臨床心理士の職場確保
- ・他職種との交流活動とネットワーク作り